

平成30年度在宅医療シンポジウム in 信州 開催要綱 (案)

1. 目的： 高齢社会が進展するなか、医療と介護の両方を必要とする方が年々増加傾向にある。
医療と介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、医療・介護・福祉等の多職種が連携して、在宅医療を推進していくことが求められている。
こうした取り組みを広く県民の方々へ情報伝達することで、在宅医療に対する関心を持ち、知識を深めてもらうことを目的にシンポジウムを開催する。
2. 主催： 一般社団法人長野県医師会
3. 共催： 信濃毎日新聞社
4. 後援： 長野県在宅医療推進連絡協議会（長野県歯科医師会、長野県薬剤師会、長野県看護協会、長野県理学療法士会、長野県作業療法士会、長野県介護支援専門員協会、長野県介護福祉士会、長野県訪問看護ステーション連絡協議会、長野県社会福祉協議会、長野県栄養士会、長野県健康福祉部）
5. 協力： 一般社団法人松本市医師会
6. 開催日： 平成30年12月2日（日） 13:30～15:30 （開場 13:00） ※予定
7. 会場： ホテルブエナビスタ
〒390-0814 長野県松本市本庄 1-2-1 TEL 0263-37-0111
8. 内容： テーマ 「リビングウィル～人生の終い方を考える～（仮）」

基調講演

演題： 「 未 定 」

講師： 医療法人社団裕和会理事長・長尾クリニック院長 長尾 和宏 氏

9. 対象者： 一般県民、医療関係者、介護関係者、行政関係者等
10. 定員： 約600名